

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

奉仕を通じて平和を

第 2465回 例会
 平成24年10月19日(金)
 天候 晴れ
 合唱 奉仕の理想
 四つのテスト

会長 山本 明峰

幹事 石倉 幸久

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
 TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
 例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
 TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

「蜜柑の季節」

今年も早生のミカンが色づく季節になりました。農家の方に聞くと、今年のミカンはとても甘くて美味しいのだそうです。その理由を聞くと夏に雨が少なかった所為らしいのです。生育条件が悪いのに豊作とはこれ如何にと思うんですが、じつはこういう事だそうです。つまり、あまりにストレスの多い環境の中では、ここは、ミカンの気持ちになって言いますと、「ああ、俺はもうダメだな」と観念するんですね。こんな劣悪な環境ではこれからとてもじゃないが生きてはいけない。ここは一つ、最後の花を咲かせて、せめて次代に自分の子孫をたくさん残そうじゃないか、とまあ擬人化して申しますとそんなところだそうです。ですから、よく、時ならぬ満開の花を咲かせた老木は早晩枯れ死すると言いますが、死期を悟ると植物でも何とか自分の遺伝子をより多く後世に残そうと足掻きもがくのだろうということです。

話は植物に限らず、動物にも適応できるのではないか、そんな興味深い研究もあるのだそうです。他ならぬ霊長類ヒト科の場合でも、ある極限状態、例えば戦地に赴いた兵士たちが、最小限、食欲・睡眠欲が満たされたとき、あるタイプの兵士は、死の恐怖に駆られた時、抑えきれぬ程の性欲の増進に苛まれるのだそうです。

この伝でいきますと、中年をとうに過ぎ、初老も過ぎた頃、ある日突然のように妙齢の女性、これから何人もの子どもをその身に宿すことの出来る程の年齢層の女性たちが、妙に輝かしく、なまめかしく、魅力的に感じるようになったら、これはもう終りの始まりだと、男としては観念した方が宜しいのではないかと、というお話です。

幹事報告

ガバナー

1. 地区財団活動資金(DDF)の方針説明及び事前調査の勉強会
 日時：11月14日(水)14:30~16:30
 勉強会会場：第一相澤ビル6階会議室
 討論会会場：5階・6階会議室
 対象者：会長・会長エクト・奉仕プロジェクト委員長
 回答期限：11月2日(金)

連絡事項

1. 次週の例会は、地区職業奉仕委員長の見澤裕喜様が卓話を致しますので、皆様のご出席をお願い致します。

スマイルBOX

会員誕生日 石川雅雄君 10月22日
 結婚記念日 小松雄成君 10月21日
 ご婦人誕生日 10月22日 平間章弘君(真実様)

石倉幸久君、高杉尚男君、渡辺久恭君、石田浩二君、望月博文君
 ライオンズクラブチャリティーゴルフ大会に参加し、準優勝、飛び賞、NP賞を獲得しました。

地区米山奨学委員(箱根RC) 澤田君雄様
 本日は米山奨学生 糞(糞)様をおつれ致しました。よろしくおねがい致します。

「体育の日」皆様の健康を祝して全員でスマイル

出席報告	ゲスト 1名	ビジター 1名	会員 23名
	欠席 2(免除者0)名		出席率 92.00%
	前回の修正出席率 92.00%		前々回の修正出席率 91.67%

連絡事項

IMについて

実行委員長 伊藤伸之

先日IM実行委員会が開かれました。

テーマは「私たちの奉仕活動を見つめ直そう」に決まりました。

サブテーマは「ロータリー財団「夢計画」を活用した奉仕プロジェクトについて考えよう」

IMの内容は過去2年間の第9グループの各クラブに於ける奉仕活動についてのアンケートをお願いし、国際、地元、東日本地震被災地支援の奉仕活動の中から3クラブを選び発表、他の4クラブから質問を受けるかたちの討論会にする。

以上が今回のIMの骨子です。11月の実行委員会で細部に亘り決まりますのでホストクラブである湯河原クラブの会員の皆様方には大変お忙しいところご協力を切にお願い致します。

卓話

米山奨学生龔婭 (KYO/A) さん

世話クラブ 藤沢北西 RC

湯河原 RC の皆様、10月19日の例会に卓話させていただきまして、有難うございました。

①自己紹介

私は龔婭と申します、中国上海から参りました。今、日本に来て5年目になりました。日本大学生物資源科学部の学部4年生で専攻は食品経済学科です。

私は、中国で高校を卒業し18歳の時に留学で日本に来ました。2年間日本語学校に通って今の大学に入りました。近年、中国における食品生産システムは食品の安全性に対する問題が発生していることで、日本の食品の流通や食品の安全について勉強したかったため、日本を留学先を選びました、そして、日本に来て、日本が食べ物に対する厳しさや、日本料理や日本の高品質な食品に驚きました。大学の勉強を通して、さらに奥の深い「食」の世界について興味を持つようになりました。

米山奨学生になっていろいろな国々の素敵な奨学生と知り合い、様々な国際交流イベントを行っていました。また、外国人に対しても、すごく親切であり社会に貢献しているロータリアンたちに、日本の文化を紹介され、日本の自然に触れ合うこともできました。皆さんのおかげで、この二年間、私は普段の生活で勉強できないことを勉強することができました。本当に皆さんに感謝します。

来年卒業して、私は日本の食品貿易会社に勤める事になりました。これからも、一生懸命仕事しながら、勉強して、日本の良い食品システムや日本人の仕事に対するプロ精神を学び、「食」の世界のプロになりたいと思っています。特に米山奨学生になった二年間を忘れず、将来いつかロータリアンになり、皆様のように日本と中国、またはアジアの国々が仲良く出来るように、架け橋になり、貢献していきたいと考えています。

②日本大学生物資源科学部食品経済学科について

私達が日々生きる上で欠かせない「食」、コンビニで手に入るファストフードから地域の伝統的な食事まで我々の身の周りにさまざまな食が溢れている多様な食の世界についての勉強です。食の世界はとても奥深いもので農林水産物から作られる農林水産業から加工され流通し私たちの手元に入るまでさまざまな食の流れすなわちフードシステムがあります。

また、農林水産業は美しい緑の空気・水を生み出し計測可能な地球環境と食料生産基盤を作る役割を果たすと共に私達に安らぎを与えてくれます。

食の世界は限りない可能性があります。

食科学産業では日々新たなヒット商品がうまれ都市部では外食も盛んになる一方、緑豊かな農村に出掛け直売所で新鮮な農水産物を買求める人々も増えています。様々な分野で活躍する場合があります。食品企業の開発や新たな外食チェーンの開発やフードコーディネーターや安全な食を求める事に地域の食を守る様々な事に若い力を求められているのを知りました

次ページに続く

多様でアクティブな食の世界を社会科学と経済学を中心に勉強しています。学校で勉強した内容は、日本では今食料自給率はわずか4割もないにもかかわらず、農林水産業に仕事をする人々や農地が減少しています。中国は経済力が高まる一方食品業界の品質の低さ農薬の使用量など悪名高い食品事情がまだ改善されていないのです。それを改善するため食に関する知識を勉強しなければならないのです。

毎日の食品は国産輸入の農水産物を原材料として更に加工流通販売などが利用可能となります。授業でこのプロセスであるフードシステムのメカニズムを理解しシステムに存在している食糧問題について学びました。

3年生の時食品マーケティングの事についての新たな目標を持つことができました。それは前の就職活動にも大変役に立ちました。農水産業は安全で栄養価の高い消費者にこれを届ける、農水産業から仕入れた食材を加工しそれを他の食産業に販売、人口の増加、科学技術の発展によってホルモン入りの牛の品種改良など多くのものはこのように生産されています、これらの方法のいいか悪いかを自分自身で判断しなければなりません

食品売り場ではセルフサービスだけでは情報が伝わらない情報量を増やすためにマーケティング会社が必要です。マーケティングの勉強によって就職活動をした私はそれによって分かった事は自分を売ることです。そのためにマーケティングをしなければならない

新入社員の3割が退職ということですが、私の強みは経営者から現場まで日本一の大学であることに気づき大学に入った事で一杯友達が出来ました。

③上海について皆さんに紹介したいと思います。

・上海の環境・気候

位置は中国の東側にあります。面積は約5,300 km²人口は約2000万人といわれています。上海人と呼ばれる人等は上海周辺から移り住んできた人々です。周辺は農地や工業も多く観光やショッピングエリアを中心に集中しています。

上海の気候は東京とあまり変わりません。しかし、湿度が東京より少し高いのです。空気は日本ほどきれいではないので雨が降ると一寸大変な事になります。上海の祝祭日は、中国の2大祝日で2月の春節と10月の国慶節で1週間ほどの長い休みがあります。

お祭り好きな人にとって上海は物足りないと思います。

・中国の宗教、民族

宗教は仏教、道教、イスラム教、キリスト教で上海の市内にはお寺や教会が点在しています。

ただ、中国の政策に反する宗教活動は禁じられています。未成年には特定の宗教活動を紹介する事を禁じられています。上海の女性はバリバリ働き、気が強いといわれていると良く言われます。家事や育児はお手伝いさんや両親にまかせて外で働くのが普通です。風水的に上海は陰の気を持つ地なので、女性が活躍できる土地なのだそうです。確かに、お店を開いたり会社を立ち上げたりして大活躍している日本人女性も、他の外国の都市より多い気がします。新しいもの好きの上海人は海外の文化や商品をすぐに受け入れるため、欧米系企業がアジア進出をする際はまず上海を選ぶと言われています。日系企業も、首都北京より上海に進出するブランドの方が多ようです。

・食文化（料理について）

魚料理が出てきたら大抵川魚です。上海は海に面していますが、料理の文化は内陸や長江流域の都市の影響を受けているので淡水魚がメインです。海の魚は食べないという人もいます。上海蟹も淡水の蟹ですし、エビなども沼や湖で養殖されています。フカヒレやアワビ料理は香港から入ってきた文化なので、上海名物ではありません。刺身や寿司を出す日本料理店は、大連や長崎から鮮魚を仕入れています。魚料理が出てきたら大抵川魚です。

・上海でビジネスを行う日本人

上海に在住日本人の数は約5~10万人と言われています。主に駐在員とその家族、現地採用で働く人、留学生など。忙しく働いている人が多く、意外と生活費は高いため、他のアジアの国のように

バックパッカーから外こもりへ、という人はほぼいません。日本人学校の規模は世界一で、日系幼稚園や進学塾も多く、あらゆる種類の日本料理店、日本人美容師のいるヘアサロン、日系病院などもたくさんあります。食料品や雑貨など、上海で購入できる日本製品も年々増えているので、「帰国したら食べたいもの」「帰国しないと買えないもの」も年々減ってきています。

上海では日本発のショップが大人気です。

レストラン、スーパー、ヘアサロン、飲み屋さん、各種チェーン店など、日本人オーナーによるあらゆるジャンルのお店がひしめく上海の街。数年前までは、「上海にもこんなお店があったらいいのに」と思うことが多かったのですが、最近ではまだないジャンルのお店を探すのが難しいほど。生活必需品ではなく、「あったらちょっとうれしいもの」を扱うショップも増えてきました。上海に住んでいる日本人女性もオシャレな人が多いと思いました。オシャレなお店を開いている人も多いのです。

私も、将来起業して、日本と中国を仲良くするために力を尽くしたいと思っています。

ご清聴有難うございました。

以上

